

令和8年度学校評価計画書

廿日市市立友和小学校

評価計画					自己評価					学校関係者評価 コメント	改善方策
中期経営目標 (めざす児童像)	短期経営目標 (めざす児童像)	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標	中間 8月	最終 2月	達成	評価	結果と課題の分析		
<p>●質の高い教育の推進 推進(市の教育振興基本 計画)</p> <p>①【確かな学力の育成】 教務部</p> <p>自ら主体的に学ぶ児童 を育成し、基礎学力の向 上を図る。</p>	<p>「対話」で 自分を育てる</p> <p>「課題の解決に向けて、 自分で考え、自分から 取り組む」児童の育成 を図る。 【市共通項目】</p>	<p>・対話を通して、自分の考え をもって、相手に伝え合う児 童の育成</p> <p>・基礎学力の定着を図る</p>	<p>・①「対話を通して、自分で 考え、自分から取り組んでい る」(じ・か・こ)②全国学力 テストの項目「学級の友達と の間で話し合う活動を通じ て、自分の考えを深めたり、 新たな考え方に気付いたりす ることができています」③「自 分と違う意見について考える のは楽しい」と肯定的に回答 した児童の割合 (中間→全国学力・学習状況 調査児童生徒質問紙・最終→ 児童アンケート)</p>	80%	① % ② % ③ %						
		<p>・全校学力テストを学期に1 回設定し取り組む</p> <p>・「知識・技能」の定着を図 るためにコグトレタイム・音 声練習に取り組む。</p>	<p>・学期ごとの学力テスト 「知識・技能」(国語・算 数)で75%以上の児童を 80%以上</p> <p>・単元テスト得点票(大橋 作成表での見取り)</p>	80%							
<p>児童の学びを支える教 育環境の充実(市の教育 振興基本計画)</p> <p>②【豊かな心の育成】 生徒指導部</p> <p>児童が安心して通える 一人一人に応じたきめ 細やかな支援</p>	<p>「対話」で 子供を育てる</p> <p>対話を通して、互いを認 め合う場を設けるなど、 児童の自己有用感を高 める。 友だちとの「対話」 みんなとの「対話」</p>	<p>学校行事、委員会活動、学級 活動など、様々な教育活動 を通して、基本的な生活習慣 を身に付け、児童の自己有用感 を育てる。</p>	<p>・児童アンケート「学校に 行くのは楽しいと思う」 (全国学力テストの項目児 童の割合85%)</p>	85%							
		<p>・「周りの人は、私の話を 聞いてくれる」と感じてい る児童の割合(自己有用 感)85%以上</p>	85%								
<p>③【健やかな体の育成】 保健体育部</p>	<p>基本的な生活習慣を身 につけ、健康と体力の向 上を推進する。</p>	<p>体を動かす楽しさや心地よ さを体感できるよう、体育の 準備体操の中に、主運動につ ながるような、ACP(アクテ ィブチャイルドプログラム) を取り入れる。</p>	<p>・「運動やスポーツが好き」 と肯定的な回答をした児 童の割合85%以上</p>	85%							
<p>●地域とともにある学 校づくり(市の教育振興 基本計画)</p> <p>④【信頼される学校】 総務部</p>	<p>「対話」で 地域・未来をつなぐ</p> <p>・「働きがい改革」を推 進しながら、子供に寄 り添い、心を育てる教 育を推進する。</p> <p>・コミュニティ・スクー ルを生かし、地域資源ひ と・もの・ことを生かす</p> <p>・ふるさと佐伯を愛し、 地域に貢献し、自らの夢 や希望の実現に向けて 取り組む佐伯っ子の育 成【中学校区共通項目】</p>	<p>・教職員間で課題を共有す るとともに、学校の組織力の向 上を図る。</p>	<p>・教職員アンケートで、「働 きがいを感じている」と肯 定的に回答した教職員の 割合85%以上</p>	85%							
		<p>・地域と共に歩む学校を目指 し取り組む。</p> <p>・コミュニティ・スクールで の熟議を活性化する。</p>	<p>・児童アンケートで、「地 域や社会をよくするため に何かしてみたいと思 いますか」と肯定的に回答し た児童の割合(中学校区共 通)80%以上</p>	80%							
		<p>・コミュニティ・スクールで の熟議を活性化する。</p>	<p>・コミュニティ・スクール を生かした総合的な学習 の時間、野外活動を実施す る</p>								

「評価」の項目については、「達成度」は「報告期の数値/目標値」である。「目標値」に対する「達成度」をA~Dで評価する。(A:100% B:80%以上 C:60%以上 D:60%未満)